

## 認知症高齢者がたどる4つの過程

高齢者の心理的特長から認知高齢者がたどる4つの過程=4つの解決ステージ

	第1段階 認知の混乱	第2段階 日時、季節の混乱	第3段階 繰り返し動作	第4段階 植物状態
基本的介護の姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>Who, When, Whereのような質問は使うが、Whatは使用しないようにする</u></li> <li><u>体に触れるのは最小限にする</u></li> <li><u>まだ保たれている部分も多いので、必要以上にその人の心に立ち入ったり、慣れなれなくしき過ぎないように注意</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「感じる」という言葉を使う 例)「あなたの気持ちは良くわかりますよ」 「あなたの寂しい気持ちは良く理解できますよ」</li> <li>・「感じる」という言葉を使い優しく触れたり、アイコンタクトを使用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しく触れたり、アイコンタクトを使う</li> <li>・ゆっくりとした本人のペースを保つ</li> <li>・本人と同じように感情や行動する(鏡に映っているように、心の動きや行動を本人と同じくし、本人の気持ちを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しく触れたり、髪をなでたりと言った 感覚的刺激を用いる</li> <li>・音楽の利用は効果的</li> </ul>
オリエンテーション (見当識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間感覚はほぼ保たれている</li> <li>・現実に対する認識は比較的保たれている</li> <li>・自分自身が混乱した状態であることを自覚している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間通りに行うことができなくなる</li> <li>・実際にあった事、名前、場所さえも忘れる。</li> <li>・新しく名前を覚えることが難しくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんど外界からの刺激を受け付けなくなる</li> <li>・本人独自の時間間隔になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族、訪問者、古くからの友人、スタッフのことが判別できなくなる。</li> <li>・時間の感覚がなくなる</li> </ul>
身体状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋肉は緊張気味</li> <li>・早い動きについていける</li> <li>・目的を持ったしっかりした足取りで歩ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失禁に気づいている</li> <li>・ゆっくりではあるがスムーズに動ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前方へかがみがちになる</li> <li>・失禁に気づかなくなる</li> <li>・不安で歩き回ったり、休みなく指を動かし続ける</li> <li>・子供時代の動作、歌を繰り返したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんど寝たきり状態</li> <li>・動きがほとんどなくなる</li> <li>・排泄をコントロールできなくなる</li> </ul>
声の調子	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>・声を荒げたり、非難したり、時に歎息をこぼしたりする</u></li> <li>・すぐに歌える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低く、めったに荒々しい声は出さない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくり落ち着いた感じ</li> </ul>	
視線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目は曇りなくはっきりとしている</li> <li>・相手にはっきりと目線を合わせられ アイコンタクトもしっかり出来る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瞳ははっきりしているが、焦点をあわせにくくなってくる</li> <li>・<u>伏目がちでアイコンタクトが認識のきっかけになる</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目を閉じていることが多くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目はほとんど閉じている</li> <li>・ボーとしており焦点は合っていない</li> </ul>
感情	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>・否定的感情、抑うつ気分</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の記憶がないので昔の記憶や感覚を今と置き換える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な感情表現ははっきりと表す</li> </ul>	評価不能
自己管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なことは出来る</li> <li>・自分勝手な振る舞いが多くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たびたび自分のものをまちがえたり、どこに置いたか分からなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身の回りのことをするのが困難になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全介助(全てに介助を必要とする)</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>・良く知っている人や役割には、積極的に反応し、優しい声やタッチに反応する</u></li> <li><u>するが、あまり良く分からないことは消極的になる</u></li> <li><u>・笑顔で挨拶されると応じることが出来る</u></li> <li><u>・本人独自の言い回しが始まる</u></li> <li>(普通とは違う言い回しが始まる)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごく普通の言葉をわずかしか使えない</li> <li>・主に非言語的なコミュニケーションしか取れなくなる</li> <li>・言葉の代わりに動作で表現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションはほとんど取れない</li> <li>・ごくたまに歌や優しいふれあいに反応する</li> </ul>
知的機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盲目の場合を除いてほぼ読み書きは出来る</li> <li>・ずっと続けてきた習慣、決め事を変えようとしない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>・読むことは出来るが、読める漢字を書くことは難しくなる</u></li> <li><u>・自分勝手なルールを作る</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書きの意欲はなくなる</li> <li>・遠い昔の記憶及びごく当たり前の一般的なもの以外、理解できなくなる</li> </ul>	評価不能
ユーモア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ多少のユーモアは理解できる</li> <li>・とても個性的なユーモアを示す</li> <li>(他人には理解しにくい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール通りにゲームをすることが困難になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的に良く笑う</li> </ul>	評価不能